

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	35291
事業名	さっぽろオータムフェスト事業費					
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE				
	課長名	西田	担当者名	南・研谷	電話番号	211-2346
施策名	主	札幌市・北海道の強みである食や観光分野の産業が、時代の潮流を				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他				
	目的	短期	実行委員会に対する補助を行い、イベントの安定的な運営と開催を図り、オータムフェスト来場者数の増加、市民・観光客の市内周遊の促進、道外認知度向上につなげる。			
		長期	魅力的なイベントを安定的に開催することで、秋季の観光振興、来札観光客の増加を図る。			
	取組内容	秋季の観光振興、来札観光客の増加のため、さっぽろオータムフェスト実行委員会への負担金交付を行う。				
	実施結果	さっぽろオータムフェスト2022を開催した。【9月9日～10月1日(23日間)】				
事業実施における工夫点	入退場口を設けた人数管理、座席間距離の確保、飛沫防止パーテーションの設置など、来場者が安心して楽しむことができる感染症対策について、実行委員会事務局と綿密に調整した。					
対象者	市民、観光客、市内外の事業者・観光業者			開始	0 年度	終了 0 年度
関連法令・条例・要綱等						
他都市の状況	政令市をはじめ、多くの自治体でイベントに対する補助を実施している。					

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		15,000	33,000	33,000	48,000
うち特定財源		0	0	0	0
人工		0.5	0.3	0.3	0.3
人件費		3,600	2,160	2,160	2,130
計(事業費＋人件費)		18,600	35,160	35,160	50,130
事業費 の内訳	令和4年度決算	さっぽろオータムフェスト運営負担金 33, 000千円			
	令和5年度予算	さっぽろオータムフェスト運営負担金 33, 000千円 環境に配慮したイベント運営経費負担金 15, 000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	さっぽろオータムフェスト年間来場者数									
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定							
	オンライン開催	2,400,000人	1,595,000人	2,400,000人							
活動指標2	指標名										
	令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定							
成果指標1	指標名	さっぽろオータムフェストの観客数									
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標							
	オンライン開催	2,400,000人	1,595,000人	2,400,000人							
成果指標2	指標名										
	令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標							
項目	判定	理由									
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、入退場口を設けた人数管理、座席間距離の確保、飛沫防止パーテーションの設置などの感染症対策を徹底し、収容規模を縮小しての開催を余儀なくされたが、3年ぶりにリアルでの開催を実現し、北海道・札幌の食の魅力を発信することができた。									
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新型コロナウイルスが流行する前の収容規模で開催した場合、イベント実施により感染拡大リスクが高まることが懸念されたことから、規模を縮小してのリアル開催は適切な対応であった。									
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	さっぽろオータムフェストは実行委員会方式で運営を行っており、かつ実行委員会の事務局を札幌観光協会が担っている。加えて、各丁目毎の会場管理者についてはプロポーザルにより民間事業者を選定しており、効率性や民間手法を取り入れるという観点からも適切である。									
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	適切な感染症対策を講じて開催したことから、市民や観光客などの来場者は安心・安全にイベントに参加し、楽しむことができた。また、3年ぶりのリアル開催を実現し、一定の市内消費が生じたことで、関係事業者を含めて、コロナ禍で冷え込んだ本市経済に好影響が及んだ。									
市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外 市民参加結果への対応 ☒ 回答 ☐ 反映										
今後の改善点	新型コロナウイルスが感染症法上の5類に位置付けられ、国内観光需要やインバウンドの本格的な回復が見込まれる。より多くの市民・観光客に楽しんでいただき、経済波及効果も高めていくため、コロナ前の開催規模に戻していくとともに、市内最大の飲食イベントとして容器類のプラスチック削減など、環境に配慮した取組も進めていく。										
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
今年度取り組んだ見直し内容	コロナ前の規模で開催するほか、新たに環境に配慮したイベント運営経費負担金を措置し、容器類のプラスチック削減などを進める		見直し効果額 (前年度)	0	千円						
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし										
評価の理由	適切な感染症対策を講じて開催したことから、来場者は安心してイベントを楽しむことができた。また、3年ぶりのリアル開催により、市内消費にも寄与した。										
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 休止・廃止 現状規模での開催を基本としつつも、会場のリニューアル等による魅力の向上、容器類のプラスチック削減の定着などを進める。									
	予算	☐ 拡充 ☐ 現状維持 ☒ 縮小 ☐ その他 環境に配慮したイベント運営経費負担金は実施初年度(令和5年度)限りの措置とし、令和6年度からは全体経費の効率化を図る中で継続して実施する。		見直し効果額	0 千円						